

(5) 高圧整流管

使用時期	高圧整流	Tube 番号
1960(S35)～1970(S45)	3A3	-522
1964(S39)	1S2A	-388
1964(S39)	1S2A×3	-388
1965(S40)～1968(S43)	1X2B	-381
1965(S40)～1971(S46)	3AT2	-524
1967(S42)～1971(S46)	3CV3	-525
1967(S42)	3A3F	523
1967(S42)	3AT2(HV), 1R-K31(MV)	-524 -395
1968(S43)	3CV3,3A3(F)	-521, -523
1968(S43)	3AW2	-526
1968(S43)～1970(S45)	3A3A	-527
1968(S43)	3CV3,3A3	-521, -522
1969(S44)～1971(S46)	3BS2A	-528
1970(S45)	3CN3	-530
1970(S45)	3CN3A	-529
1970(S45)～1971(S46)	3CU3	-531

*Tube- 522, Tube- 523:**3A3, 3A3F*

サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	GT29-12A
使用時期	1960(S35)~1970(S45)	初期使用機種	三洋電機(19CT-100)
使用回路	CTV:高圧整流	Ef [V] × If [mA]	3.15×220

特徴：傍熱型整流管、ピークプレート耐逆電圧=30,000V,ピークプレート電流=88mA,直流出力電流=1,700 μ A,X-Ray対策無、（注意書「X線を放射しますのでしゃへいを十分おこなって下さい。」）、RCA TUBE HANDBOOK,HB-3,1956ではピークプレート電流=80mA

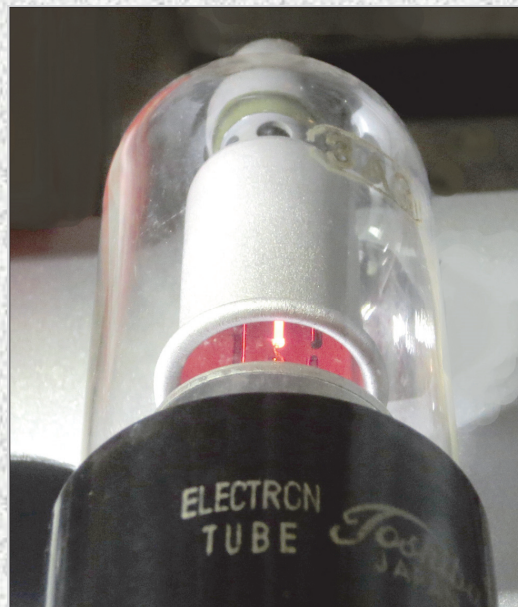
3A3F：日本ビクターの2機種に使用されているが規格は不明、

使用時期：1967(S42)、初期使用機種：日本ビクター（25CT-1007D）

経緯：1954年RCAで開発、東芝電子管ハンドブック,1962



一部拡大



通電状態

Tube- 524:

3AT2

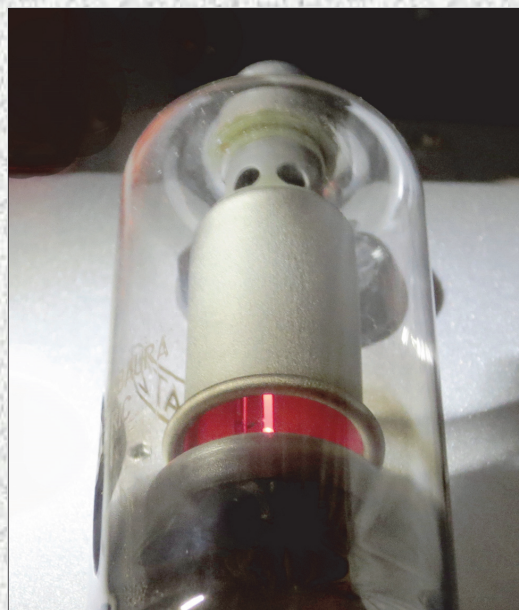
サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	コンパクトロン管,C29-100
使用時期	1965(S40)～1971(S46)	初期使用機種	東京芝浦電気 (19WA)
使用回路	CTV:高圧整流	E_f [V] × I_f [mA]	3.15×220

特徴：傍熱型整流管、ピークプレート耐逆電圧=30,000V,ピークプレート電流=88mA,直流出力電流=1,700 μ A,X-Ray対策=無

経緯：（東芝電子管ハンドブック,1969）



一部拡大



通電状態

*Tube- 525:**3CV3*

サンプル・メーカー	松下電器産業（National）	外形番号	GT29-16A
使用時期	1967(S42)～1971(S46)	初期使用機種	松下電器産業（TK-50D）
使用回路	CTV:高圧整流	E_f [V] × I_f [mA]	3.15×250

特徴：傍熱型整流管、ピークプレート耐逆電圧=35,000V,ピークプレート電流=100mA,
直流出力電流=1,900 μ A,X-Ray対策=無

経緯：（GE Essenrial Characteristics,1973）



一部拡大



通電状態

Tube- 526:

3AW2

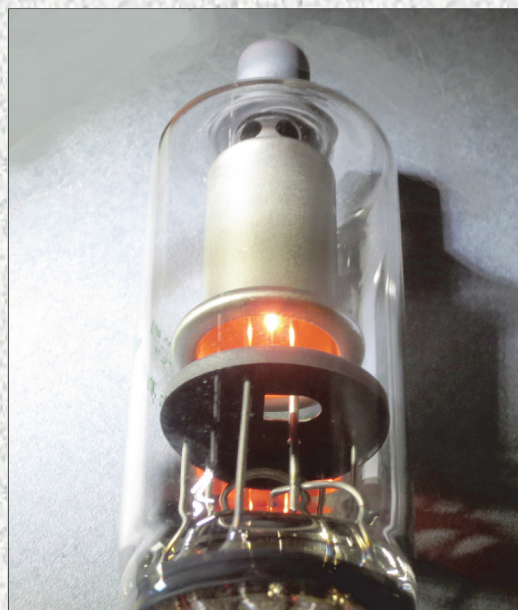
サンプル・メーカー	USA(MOTOROLA)	外形番号	コンパクトロン,C29-56
使用時期	1968(S43)	初期使用機種	日本コロムビア (25CBL8)
使用回路	CTV:高圧整流	$E_f [V] \times I_f [mA]$	3.15×350

特徴：傍熱型整流管、ピークプレート耐逆電圧=38,000V,ピークプレート電流=110mA,
直流出力電流=2,200 μA ,X-Ray対策=無

経緯：(GE Essenrial Characteristics,1973)、(東芝電子管ハンドブック,1969)



一部拡大



通電状態

*Tube- 527:***3A3A**

サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	GT29-12A
使用時期	1968(S43)～1970(S45)	初期使用機種	新日本電気 (19-CT120)
使用回路	CTV:高圧整流	E_f [V] × I_f [mA]	3.15×220

特徴：傍熱型高圧整流管、ピークプレート耐逆電圧=30,000V,X-Ray対策=無、**3A3**からの改良点：ピークプレート電流=88→100mA,直流出力電流=1,700→2,000 μ A

経緯：東芝では、**3A3A**を1969(S44)年で廃止した。（東芝真空管ニュース,No.17,1969）
 （GE Essenrial Characteristics,1973）



一部拡大



通電状態

*Tube- 528:***3BS2A**

サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	T29-100 12T9?
使用時期	1969(S44)～1971(S46)	初期使用機種	ゼネラル (19-CCH)
使用回路	CTV:高圧整流	E_f [V] × I_f [mA]	3.15×480

特徴：傍熱型整流管、ピークプレート耐逆電圧=38,000V,ピークプレート電流=110mA,
直流出力電流=2,200 μ A,X-Ray対策=無

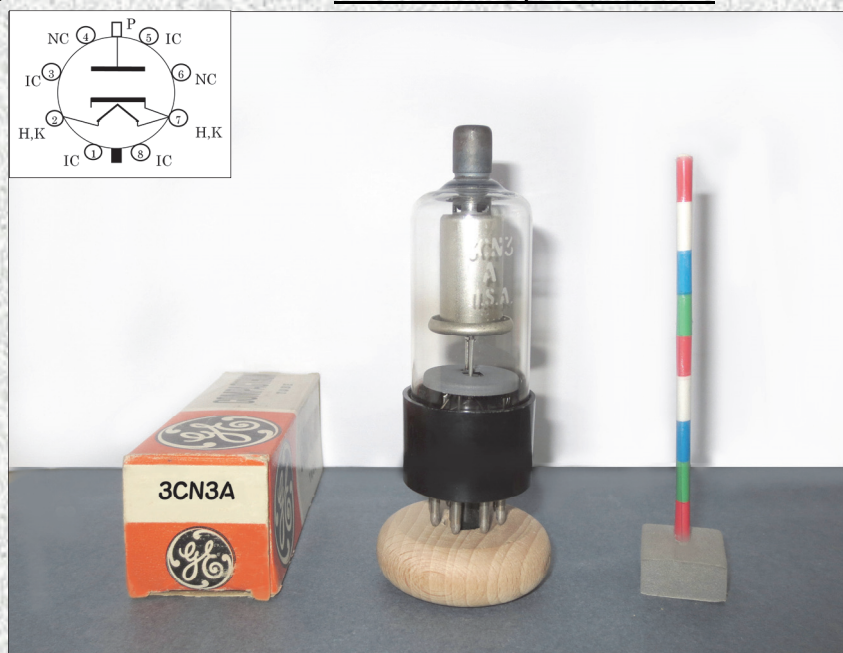
経緯：(GE Essenrial Characteristics,1973)、(東芝電子管ハンドブック,1969)



一部拡大



通電状態

*Tube- 529, Tube- 530:**3CN3A, 3CN3*

サンプル・メーカー	USA(GE)		外形番号	T-9 (ガラス)
使用時期	1970(S45)		初期使用機種	日本ビクター (C-859S)
使用回路	CTV:高圧整流		E_f [V] × I_f [mA]	3.15×480

特徴：傍熱型整流管、ピーク耐逆プレート電圧=38,000V、ピークプレート電流=110mA、
直流出力電流=2,200 μ A、X-Ray対策=無

3CN3：3CN3A同規格、使用時期：1970(S45)、初期使用機種：日本ビクター (C-750)

経緯：(GE Essenrial Characteristics,1973) (参考、日本では未使用であるが**3BN3C**は同規格で、
X-Ray対策が施されている。)



一部拡大



通電状態

*Tube- 531:***3CU3**

サンプル・メーカー	新日本電気 (NEC)	外形番号	GT29-16A
使用時期	1970(S45)～1971(S46)	初期使用機種	三菱電機 (13CPS-136)
使用回路	CTV:高圧整流	E_f [V] × I_f [mA]	3.15×280(フィラメント)

特徴：直熱型整流管、ピークプレート耐逆電圧=33,000V,ピークプレート電流=100mA,
直流出力電流=2,000 μ A,X-Ray対策=無

経緯：(GE Essenrial Characteristics,1973)



一部拡大



通電状態